

# 台風対応 戸惑った訪日客

## 翻訳災害情報 行き渡らず

広く日本列島に被害をもたらした台風10号。接近に備え、事前に交通機関や商業施設が休業を決める動きが各地で相次いだ。ただ、閑散とする街中で、そうした情報を得られず戸惑う外国人旅行者らの姿が見られた。災害情報を発信するサービスは次々と立ち上がっているが、どう届けるか、課題が残った。

8月30日、福岡市の博多駅や周辺の繁華街では、日頃行き交う日本人の通勤客や観光客の姿がほぼ消えた。代わりに目立ったのはリュックを背に、土産袋を手にした外国人旅行者たちだった。「私の国では台風になじみがない。どうすればいいのか……」。オーストリア人のドミニク・シユラーガーさん(43)は、シャッターの下りた博多駅の改札前で肩を落とした。JR九州はこの日の九州新幹線や在来線の大半を運休すると前夜までに発表していた。シユラーガーさんは大分・別府に行くつもりだったが、



台風10号の影響で在来線が運休したJR博多駅で、運行状況を確認する外国人旅行者＝8月30日午後、福岡市博多区

運休を駅員に聞いて初めて知ったという。台風10号の影響で、JR西日本は30日の始発から山陽新幹線の広島―博多間で運休。JR東海も同日の始発から東海道新幹線の東京―新大阪間で運転を見合わせ、その後一部区間は再開したが、全線再開は9月1日夕にずれ込んだ。

ただ外国人旅行者には情報は行き渡っていたとは言えない状況だった。8月30日夜、JR大阪駅の観光案内所では、ドイツから来たパトリシアさん(29)とティシアアナさ

可能性を知ったのは、ドイツで日本のニュースを見たティシアアナさんの父親のおかげ。「それでアプリで確認した」と話した。30日、博多駅を歩いていた韓国人のヨン・ソリさん(29)は、宿泊先で前夜に見たテレビ番組は日本語で、台風接近の重大さが理解できなかった。災害情報を韓国語で提供する電話サービスやアプリはあるが、知らなかった様子だった。

### 識者「文字より音声で」

外国人旅行者が増えるなか、政府は災害情報を届ける取り組みを進めてきた。日本政府観光局は2018年、英語や中国語、韓国語で24時間対応するコールセンターの運営を開始。災害や非常時に電話対応する。また、14年から始まった観光庁の情報提供アプリ「Safety tips」は、緊急地震速報や津波警報、気象特別警報を英語や中国語、モンゴル語など計15言語で通知する。同庁では、アプリを取得できるQRコードを記載したカードを作成。国内の観光案内所約60カ所に配っているほ

か、ホームページでも周知を図る。大阪観光局も大阪市内の案内所で、鉄道の運行情報サイトにアクセスできるQRコード記載の紙を配布。JR東日本や東海など交通各社もホームページで多言語による運行情報を発信している。それでも情報が行き渡らない状況について、観光庁の担当者は「外国人旅行者はそれぞれ、様々なサイトを閲覧して情報を集めている」と推測する。見てほしい情報をまとめた冊子やホームページをそろえても、確実にアクセスするとは限らない。「実際にどのような情報に触れてもらうのか、考えていく必要はある」と話した。

危険度やホームページを案内するなど「聴覚に訴える発信に力を入れるべきだ」と話した。(山本達洋、飯島健太)

朝日カルチャーセンター

10月3日  
11月7日  
12月26日  
(全3回)

大澤真幸 社会学者

「世界史」の哲学

10月～12月の講座  
好評受付中

青鉛筆

▽ハウス食品が、即席袋麺「ろまかつちゃん」の特製どんぶりを開発した。福岡市の専門学生がデザインし、有田焼の窯元が焼き上げた逸品だ。

▽白と黄色の2種類。レンジつきで大人用6600円、子ども用4180円。応援購入サイト「Makua」で12月2日まで注文できる。

▽大人用で直径約17センチ、食器棚にコンパクトに収まるサイズにしたという。今月で発売45周年の袋麺ともども「長く愛されたい」。

摘。文字やQRコードの表示よりも音声の方が伝わりやすいといい、訪日客が必ず立ち寄る空港や主要駅、ホテルで台風の

危険度やホームページを案内するなど「聴覚に訴える発信に力を入れるべきだ」と話した。

(山本達洋、飯島健太)